

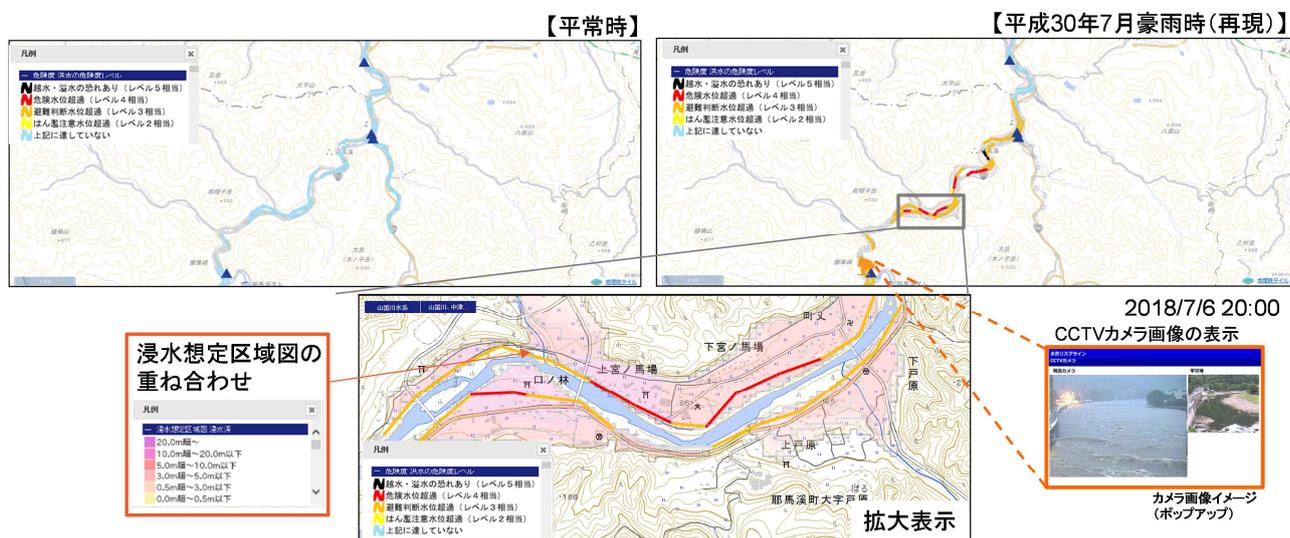
令和元年 9月11日 14時00分
資料配布：近畿地方整備局

「水害リスクライン」により身近な箇所の危険度が明らかに

～より身近な箇所の危険度を把握することで、防災行動を円滑化～

- 国土交通省では、災害の切迫感を分かりやすく伝える取組みの一つとして、上流から下流まで連続的に洪水の危険度が分かる「水害リスクライン」による水位情報の提供を開始します。
- 「水害リスクライン」は、概ね200m毎の水位の計算結果と堤防高との比較により、左右岸別に上流から下流まで連続的に洪水の危険度を表示することが可能となるシステムです。
- 6月中旬から全国10水系（近畿管内1水系）について市町村等向けに提供を開始していますが、9月11日より一般向けの提供サイトの運用を開始するとともに、対象水系を全国50水系（近畿管内は10水系全て）に拡大します。
- なお、今後、順次対象水系を拡大し、本年度中を目途に、国が管理する全109水系で運用を開始する予定です。
- 併せて、河川水位の状況をSNSで共有、家族、知人などに危険を知らせることができる、シェアボタンを河川情報サイト「川の水位情報」に追加しました（9月3日）。
■「水害リスクライン」URL：<https://frl.river.go.jp/>
「川の水位情報」URL：<https://k.river.go.jp/>

(水害リスクラインの表示イメージ)



【<配布場所> 近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ

【問合せ先】

近畿地方整備局 河川部 水災害予報センター
センター長 井川 貴史 水災害対策専門官 細川 晋
TEL: (代表)06-6942-1141 (直通)06-6944-8853

(参考)

【水害リスクライン】

提供を開始する水系：計50水系 【凡例：近畿管内は10水系全て 下線箇所】
尻別川、後志利別川、鷓川、十勝川、釧路川、網走川、常呂川、湧別川、渚滑川、留萌川、赤川、高瀬川、荒川、小矢部川、鈴鹿川、櫛田川、宮川、由良川、大和川、淀川、加古川、揖保川、円山川、紀の川、新宮川、九頭竜川、北川、千代川、天神川、日野川、斐伊川、江の川、高津川、吉井川、旭川、高梁川、芦田川、太田川、小瀬川、佐波川、吉野川、那賀川、物部川、仁淀川、渡川、肱川、重信川、土器川、山国川、川内川

「水害リスクライン」

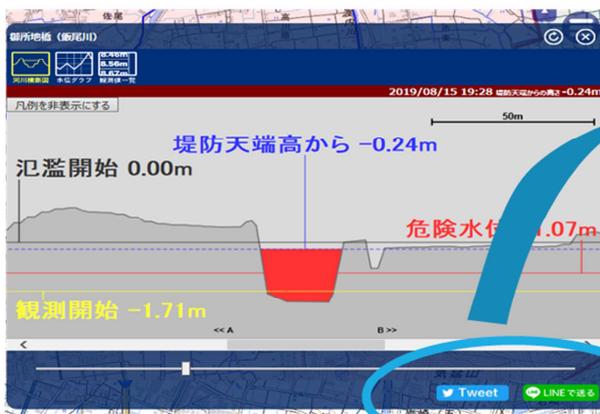
URL : <https://furl.river.go.jp/>



【「川の水位情報」へのシェアボタン追加イメージ】

「川の水位情報」サイト

SNSで共有



※シェアボタンにより、川の断面図などのイメージをSNS（LINE、Twitter）に投稿することで、川の水位情報や洪水の危険を家族、知人などと分かりやすく共有。

「川の水位情報」

URL : <https://k.river.go.jp/>



水害リスクラインによる水位情報の提供

○9月11日より全国50水系(近畿管内全10水系)に提供を拡大

○観測所地点の水位から上下流連続的な水位をリアルタイムで計算し、堤防の高さと比較することで危険度を表示する「水害リスクライン」により、災害の切迫感をわかりやすく伝える取組を推進

水害リスクラインを活用した洪水予報・危険度の表示

左右岸別、上下流連続的に地先ごとの危険度を表示

■主な提供情報

- 市町村等: 平面表示【破堤点、浸水想定区域、被害規模(人口、世帯数、建物数)、危険度、水位観測所】
横断表示【基準水位、テレメータ水位、予測水位(6時間先)、雨量】
- 一般: 平面表示【破堤点、浸水想定区域、危険度、水位観測所】
横断表示【基準水位、テレメータ水位】

水害リスクラインの表示イメージ(山国川の例)

【平常時】

【平成30年7月豪雨時(再現)】



浸水想定区域図の重ね合わせ



2018/7/6 20:00

CCTVカメラ画像の表示



カメラ画像イメージ (ポップアップ)